

小生の「仙台一中・一高中京支部」（この後は「中京一中・一高会」）の思い出を下記します。

小生は。昭和44年（1969年）に東洋レーヨン（現・東レ）に入社しました。滋賀県石山で入社教育を受け、5月1日に愛知県岡崎市の岡崎工場に着任し、「中京地区の人」となり、現在に至っております。

新入社員の白線の入った帽子を被り、工場の現場を見に行った時に、一人の男性が近づいて来て「君は仙台の出身と聞いたが、高校はどこ？」と聞かれて「仙台一高です」と答えると、「じゃ、俺の後輩だ」と言われてビックリしましたのを覚えています。その人は高12回の西村紘紀さんでした。小生の東レ同期入社は81人でしたが、岡崎工場配属は小生一人であったこともあり、それから、金魚の糞（ふん）の如く、西村さんに付いて行動しました。

6、7月頃に、西村さんから「一高の同窓会があるから一緒に行こう」と誘われ、ご一緒しました。会場は名古屋で出席者は20人以上だったと思いますが、はっきり覚えているのは、会長が中38回の森本秀勇さんだったことだけ。この会が「中京一中・一高会」の第1回だったことも忘れており、後に教えて頂きました。

今、この文章を書きながら、西村さんにお会いしなければ、案内状が来ない小生が第1回の「中京4一中・一高会」に出席できなかったは明白で、小生と「中京一中・一高会」は強い縁があると改めて思っているところです。

それから、タイに単身赴任した4年間を除いて、できる限り「中京一中・一高会」には出席させて頂きました。

古い写真がないかとアルバムを探したら、昭和48年の写真が出て来ました。その脇に印刷物があり、7月8日、鳳凰（名鉄メルサ18階）、出席者：大竹校長、森本会長（前記）、他25名のお名前が記載されていました。

昭和53、54年、55年には、一高の新聞部の顧問をして頂いた青木功二先生が、校長で来られて懐かしくお話したのも良き思い出です。

また、昭和53年には、三菱レーヨンに勤務されていた高10回の皇芳之さんとお会いたのもはっきり覚えております。その当時、小生は東レで合成繊維の仕事をしていました。、東レと三菱レーヨンは「日本の合繊6社」の2社でしたので強い思い出になったのだと思います。

皇氏はその後、三菱レーヨンの社長になりました。蛇足になりますが、皇氏が社長の時に「日本の合繊6社」のうちのクラレの社長が高13回生の和久井康明氏でした。『「日本の合繊6社」の2社の社長が我が先輩』は、当時の小生の自慢でした。

平成25年（2013年）の「中京一中・一高会」で、高17回の大橋弘文さんから会長を引き継ぎ、平成31年に、高18回の千石郁夫さんにバトンを渡しました。小生の会長時の一番の問題は、「中京一中・一高会」への出席者が10名近辺で低迷していたことでしたが、改善出来ませんでした。誠に申し訳なく思っております。

長々と駄文を書いてしまいましたが、今回スタートのこの『中京一中・一高会ホームページ』が「中京一中・一高会」の今後の発展に大きく寄与してくれることを期待しております。